

第9回「わのうち未来塾」報告

- 1 期 日 令和4年8月10日(水)
A班 9時00分から12時00分
B班 13時00分から16時00分
- 2 研修場所 金生山化石館(大垣市赤坂町4527番地19)
赤坂地区センター(大垣市赤坂町3342番地1)
- 3 講師 金生山化石館長 引率(淺野、西脇、加納)
- 4 参加者 4年 13名(欠席1名)、5年 7名(欠2名)、6年 6名(欠1名)
- 5 内 容

○コロナ感染対策のため、A班(午前)、B班(午後)の2班体制で実施した。

○化石レプリカ作製実習(赤坂地区センター)

化石館見学(金生山化石館)

(1) 化石レプリカづくり(引率者1名も参加)

アンモナイトの型に石膏をいれてレプリカを作成する。

①粘土をよくこね、平たくして、その後、皿状にする。

②粘土の型にアンモナイトの化石を押しつけ、化石を剥がす。

③1/3程度石こうを入れた小カップにスプーン一杯(20cc)の水を入れる。

④よく混ぜる。

⑤粘土の型に石こうを注ぐ。

⑥40分以上そのままにして、固まらせる。

⑦粘土の型から粘土を外す。

(2) 化石館説明(1)の⑥の時間に(化石博物館に移動して)

金生山の化石は、2億5千万年前の生物である。赤道直下に存在した珊瑚礁がプレート運動により北に運ばれ現在の場所に移動した。金生山は全山の90%以上が生物石灰岩からできている。フズリナ、ウミユリ、サンゴ、貝類や石灰藻など保存のよい多くの化石を含んでいる。



